

**令和7年度 全国学力・学習状況調査**  
**教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立東北中学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は3年生で、国語、数学、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、生徒の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

**【本校と全国の平均正答率比較】**

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	54.3%					○
数学	48.3%	○				
理科	503点 (IRTスコア)		○			

※中学校理科がCBT（コンピューターテスト）により実施され、学校ごとに出題された問題が異なることから、「平均正答率」に代わり「IRTスコア」という指標が使われるようになりました。

「IRTスコア」とは国際的な学力調査で採用されているテスト理論で、この理論を使うと異なる問題から構成される試験の結果を同じものさし（尺度）で比較できます。なお、標準点は500点となっております。

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	48.1%	○				
話すこと・聞くこと	53.2%					○
書くこと	52.8%					○
読むこと	62.3%					○

【考察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、全国平均を下回りました。新出漢字や熟語の学習に取り組む時間を授業の中で設定し、定着が図れるように力を入れていきます。
- 全体的には、全国平均正答率を上回る結果でした。特に「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域では、自分の考えがわかりやすく伝わるように工夫することへの理解ができていました。毎日の授業や生活のなかで、自分の意見を根拠を明確にして話したり書いたりするように意識させていることが成果につながったと考えています。

【数学：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と式	43.5%	○				
図形	46.5%	○				
関数	48.2%	○				
データの活用	58.6%	○				

【考察】

- 数学的に説明する力に課題があります。誤答を見ると、根拠として説明するための要素が不足している生徒が多いことが分かりました。必要な情報を的確に判断し、それをもとに筋道を立てて説明する学習が不足していたと考えられます。今後は、普段の授業の中で、根拠や理由を明らかにしながら自分の考えを他者に伝える時間を一層充実させ、説明する力を高められるよう取り組んでいきます。
- 全国と比較すると「データの活用」の領域に大きな課題が見られました。データの分布や傾向の読み取りについて理解ができていないため、正答につながらなかったと考えられます。また、判断した理由を数学的に表現する力も不足していることが考えられます。今後は、ICTを効果的に活用して、データの読み取りや判断した過程を視覚的に捉えられるよう工夫して指導していきます。

### 【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

※理科については、一部の共通問題を除き、学校ごとに出題された問題が異なり、かつ公表されている問題も全体の4割程度となっており、国語や数学のように領域別の正答率が提供されていないことから、考察のみ記載いたします。

### 【考 察】

- 元素記号を答える問題で全国平均を上回ることができました。今後は、用語の確認や計算の練習をする時間を授業の中に設定し、どの分野においても、基礎基本の定着に努めていきます。
- 思考・判断・表現を問う問題に特に課題が見られました。身につけた知識を活用し、表現する活動や、個人で考える時間を十分に確保することで、思考力や判断力、表現力を高められるように取り組んでいきます。

## 令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立東北中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
中 3	全 国	27.4	50.1	19.2	2.8
	東北中	33.3	51.5	15.2	0.0

(単位 %)

### 【考 察】

- 「できている」と「どちらかといえばできている」を合わせると、84.8%となり、全国平均を上回っています。定期テスト前の学習会を継続して実施してきたことで、生徒が分からないことや知りたいことを積極的に質問する機会が増え、主体的に学ぼうとする姿勢が育まれてきています。
- 今後は、普段の授業で「自分の学び方」を意識させる機会を設け、振り返りや共有する時間を通して学習方法の定着と主体性をさらに高めていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中 3	全 国	9.9	20.9	30.8	19.1	11.3	7.7
	東北中	3.0	27.3	45.5	18.2	3.0	3.0

(単位 %)

### 【考 察】

- 1時間以上学習している生徒が7割を超えており、計画的に学習している生徒が多いと考えられます。自主学習ノートにコメントを書き入れ、意欲を高める働きかけを行ってきたことが成果として現れたものと考えます。
- 今後も、生徒一人ひとりの学習状況に応じた声かけや指導を行い、学ぶ意欲と学力向上につながる支援の充実に努めてまいります。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中	全 国	23.0	50.4	21.3	3.7
3	東北中	30.3	42.4	21.2	3.0

(単位 %)

【考 察】

- 授業の終わりに「今日の学び」や「分からなかったこと」を書く活動を継続し、自分の理解を振り返る力を育てています。また、家庭学習でも授業の内容を復習するよう促し、学習のつながりを意識させることで、日々の学びを深められるよう取り組んでいます。
- 今後は振り返りの内容や学習記録をもとに、生徒の理解度やつまずきを早期に把握し、必要に応じた声かけや補充学習を行うことで、学びの定着を支援していきます。

4 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中	全 国	77.1	18.8	2.7	0.8
3	東北中	93.9	6.1	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 当てはまる、どちらかといえば当てはまるで100%となっています。道徳や生徒会の活動を通して、いじめ防止と良好な人間関係づくりに重点を置いた取組を行い、生徒一人一人が「いじめは絶対に許さない」という意識をもち、困っている友達に寄り添おうとする姿が見られます。
- 今後は、SNS上のトラブルにも対応できるよう、具体的な場面を想定した指導を行っていきます。ご家庭でも、お子様が安心して悩みを話せる環境づくりをお願いします。